桑名人協

平成14年９月５日
第　12　号
桑名市文化協会
桑名市中央町２丁目37
TEL　24－1361

五月十一日(土)市民会館にて
第10回総会を終えて＝

年に一度、全会員の意見を聞いて活動方針に反映するための協会の最重要のこの会議は、全会員を収容できる会場がないので、代議員制を取り入れており、各部門の会員数の原則比例により出席人数八十三人を各部門に割り振っています。

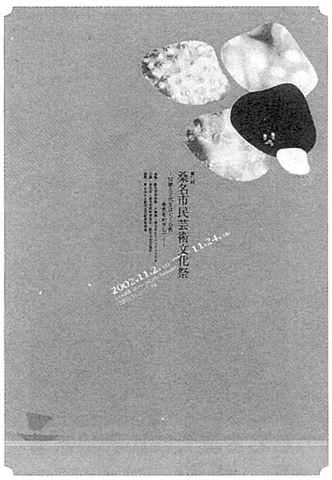
各部門理事は、総会を前に役員から提案された議案書を、部門を構成する団体・個人の代表者を集めて意見集約の機会を持ち、各部門の代議員に託してこの日に臨んでいます。

総会は、来賓の挨拶のあと役員からの当協会10周年にあたり組織の一つの節目を考慮した活動報告や方針案が出され、組織や文化祭、10周年の三委員会の活動経過もあり、真剣な討議がなされました。

その実現のために役員と共に会員一人一人が取組みにかかっております。

第11回桑名市民芸術文化祭いよいよ始まる!!

今年は、初の試みとしてポスターの原画を一般公募しました。応募数は少なかったものの、力作揃いで、七月二十七日に選考の結果、松井伸之さんの下記作品が採用されました。



★文化祭催し物一覧★

会場	期日	催事内容
桑名市民会館	11・2(土)～11・3(日)	文芸展
桑名市民会館	11・2(土)～11・3(日)	桑名菊花展
桑名市民会館	11・2(土)～11・3(日)	水石展
桑名市民会館	11・3(日)	囲碁将棋大会
桑名市民会館	11・3(日)	ダンスdeパフォーマンス
桑名市民会館	11・10(日)	吟剣詩舞道の祭典
桑名市民会館	11・10(日)	ざっくばらんトーク10
桑名市民会館	11・17(日)	芸能の祭典
桑名市民会館	11・23(土)～11・24(日)	趣味教養まつり
桑名市民会館	11・24(日)	2002音楽のフルコース
六華苑	11・2(土)～11・3(日)	華道展
六華苑	11・3(日)	お茶会
六華苑	11・23(土)～11・24(日)	彫型画による年賀はがき作り
六華苑	11・23(土)～11・24(日)	百人一首かるた競技
コミュニティプラザ	11・10(日)	おしばい　桑名発！
コミュニティプラザ	11・10(日)	ちびっこマナー教室＆親子で絵本を楽しもう
コミュニティプラザ	11・21(木)～11・24(日)	美術展

部門だより

伝統を守り育てよう

文学部門　伊藤　文郎

文学部門は短歌（金雀枝短歌会）・俳句（あやめ会）・川柳（桑名川柳会）・小説（倉田俊策個人）により編成され、本年度はあやめ会が当番としてお世話することとなり、二回の代表者の会合を持ち、伝統文学を守り引き継いでゆくための方策を検討しております。

郷土の俳人として永年後輩の指導育成に情熱を傾けて来られた、葛山たけし先生が昨年七月他界されたことにより、氏の主宰された俳句会が解散したり、運営の形を変えるなどによる退会があり、残念ながら会員の減少を見ました。

しかし冒頭に掲げた各分野の会員により、本年も市の文化祭に参加し文芸展を開催致します。多くの方々に見て頂き、ご批判を頂戴すると共に、未加入の団体の参加や各会への入会を促し、少しでも市の文化向上に役立てばと願っております。

更に本年度は桑名市文化協会の設立十周年に当たりますので、文学部門としては「記念合同作品集」を発刊すべく計画中であります。

古来桑名は、七里の渡しのある交通の要所であり、またお伊勢参り玄関口の町として、日本各地から人の集まった所であり、様々の異文化を吸収して、文化の香り高い町として栄えてきました。

伊勢大神楽・石取祭・桑名万古・桑名の折鶴など、多くの伝統文化がいまも息づいております。また市内各所に見られる、歌碑・句碑・詩碑等より窺い知る事が出来るように、近世より現代にいたるまで、文芸の分野に於いても、高い水準の町であったことを物語るものであります。

ところが産業構造が大きく転換して行くなかで、人々の生活の在り方は急速に変化し、心の様相まで変わってしまった。物資優先の社会環境のなかで、荒んだ心の問題が取り沙汰され、伝統文化の再認識が叫ばれ始めて久しくなります。

このような世情のなかで、伝来の文化を受け継いで後世に伝える、大切な役割を我々市民は背負っているのでありまして、この様にささやかな文学部門の催しが、少しでも皆さんの賛同を得て、参加を促す支えとなればと願って止みません。

「ざっくばらんトーク10」へどうぞ

社会文化部門　水谷　正

社会文化部門が担当して毎年開催している「ざっくばらんトーク」は今年で第十回となる記念の年を迎えることになりました。

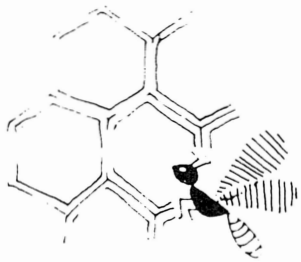
今回は「国際文化交流委員会」が主管で、十一月十日（日）の午後一時三十分から、市民会館三階会議室で、駐名古屋大韓民国総領事　柳洲烈（ユ・ジュヨル）さんに「深まった韓日友好――サッカーW杯共催の成功――」と題してご講演をしていただき、そのあと皆さんとご意見を交換したいと思います。

今年は、共催したワールドカップサッカーではともに応援し合うことができ、お互いにいい成果を上げることができました。また日韓国民交流の年にあたり、文化・芸術分野の面でも、日常生活や食べ物の面でも、理解や交流が大いに進んでいます。そこで、一昨年のテーマであった「異文化理解」を引き継いで、国際間の文化の接近、とくに日韓の生活文化のハイブリッド化と言われる流れが急速に拡がっていることを理解しようという目的で、この催しを開催することにしました。

講師にお願いする柳洲烈総領事は、名古屋領事館においても、月に一回定期的に、日韓両国にかかわる歴史の座談会を開催して、市民との対話をはかっておられるなど、活発なご活躍により将来が期待されている新進気鋭の外交官です。

文化交流に関心をお持ちの方も、スポーツの交流に関心をお持ちの方も、ぜひお誘い合わせてご来場ください。

講師の駐名古屋大韓民国総領事
柳　洲烈　さん



★★★★★★★★★★★★★ 今年の美術展 ★★★★★★★★★★★★★

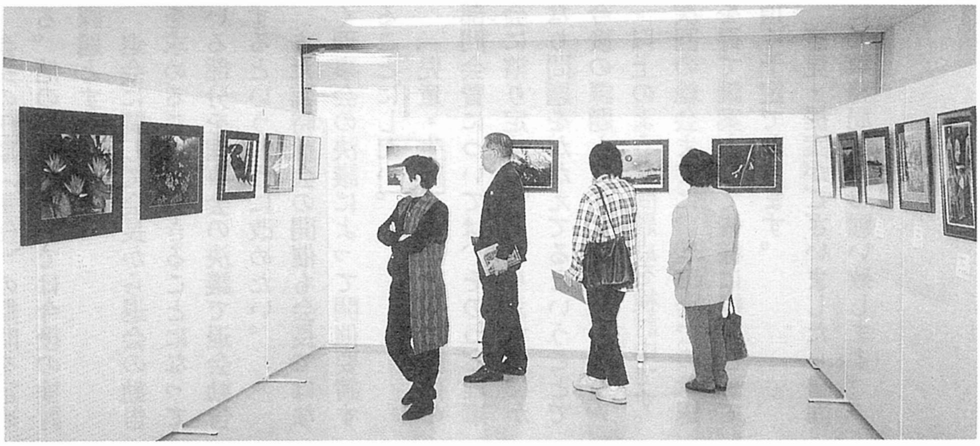
美術部門　水谷　勝子

　錦秋恒例の桑名文化協会の美術展は第十一回を迎えました。今回は百三十二点が展示されます。うち日本画十七点でロビー中心に位置づけが決定していますので、各自是非二十号をと制作に励んで成功を望んでいます。

　洋画は六グループと個人出品でバラエティーにとんだ意欲作品一杯です。書道は楷書、行書、草書、隷書、かなと先生賞賛の二十一点を展示。写真は全日本写真連盟桑名支部と写団しぐれで結成され一点一点が個性豊かな秀作です。次の工芸では陶芸の伝統的な作品の中にも新風を感じます。彫型画・ちぎり絵・染色・藍染と各種繊細で女性独特の優美さが持ち味です。

　最後に彫刻は熱血先生の指導で展示表現が楽しく斬新な装置が面白い。この様に美術展はますます発展して、皆様に愛される文化祭です。

　日々真摯な取り組みを忘れないよう心がけております。



文化祭にむけての意気込み

音楽部門　日置美知代

　まずは市民芸術文化祭も今年で11回目を迎えさせていただきますことを皆様とともに慶びたいと存じます。

　私たち音楽部門はロック・フォーク・吹奏楽・オーケストラ・弦楽合奏・リコーダーなど色々なジャンルの12団体2個人により構成されています。文化祭には、この数年は「音楽のフルコース」と題して色々なジャンルの音楽を楽しんでいただいております。

　今年度の文化祭にはZACK BEAT・桑名弦楽合奏団・桑名マンドリン倶楽部・桑名吹奏楽団の四団体が参加いたします。

　では、今回参加いたします四つの団体のご紹介をさせていただきます。

　ロックバンドのZACK BEATは今年で活動11年目を迎えます。構成メンバーは六名。楽器はギター(二)・ベース・ドラムスといった構成です。毎週水曜日、公民館で練習を行っています。人数が少ないバンドだけに一人欠けると練習が成り立ちにくく、なかなか全員が揃うことも難しい中、それでもめげずに頑張って練習しています。

　マンドリン倶楽部は今年創立八年目を迎えます。団員は五十五名。普段は学校や福祉施設等で演奏活動を行っています。今年はまた御在所山頂でのフラワーコンサートやアカトンボコンサートも企画いたしました。練習は月二回、年八回程度の演奏会に参加して楽器を弾く喜びを楽しんでいます。

　桑名吹奏楽団は昭和四十八年創立という長い歴史を持つ団体です。団員数は三十五名。年二回の定期演奏会を行い通算、約百五十回の演奏会をこなしてきたレパートリーも幅広く大変実力のある団体です。

　桑名弦楽合奏団は今年で創立十二年目を迎えます。現在の実働団員数は十七名。幅広い年齢層の団員が専用練習場にて毎週金曜日に練習しています。毎年市内や桑名郡、員弁郡で四回の地域巡回コンサートと定期演奏会、依頼演奏も年数回実施しており、東京のカザルスホールで開催された「アマチュア室内楽フェスティバル」に参加、高い評価を得ました。

　この他にも今年は参加しませんが音楽を楽しむ仲間がいっぱいです。みんな楽しいステージにしたいと張り切っております。

　どうぞステージをご覧になって下さい。そしてよろしければ皆さんも私たちの仲間にお入りになりませんか？

　音楽の輪が大きく広がることを願っております。

協会設立10周年
三委員会 経過報告

「文化協会の明日のために」

組織検討委員会　今村　和子

組織検討委員会としては、現在規約の見直しをしております。

まず最初に、会員資格に「桑名市に在住、勤務または活動の拠点があること」という項目をつけ加えるべきか否か、という検討。

またその場合団体の会員中一人でも桑名市在住なら良いのか、否か。助成金（税金）の申請という問題を含んで十分考慮・検討しなくてはいけない問題です。

会長指名理事のあり方。（副会長制の案あり＝理事により互選・問題点＝部門代表理事に欠員が生じる）

各部門長の任期と協会の理事任期のずれの問題＝（部門代表は部門長でなくても可または部門で修正して頂く）

文化課の職員で協会の事務を担当している人の立場を明らかにする＝事務局員

文化課長を担当なしの指名理事から事務局長という名称にしてその役割を明確にする。

会長の任期（重任）の期間を定める。他の役員については今後の検討課題とする。

退会に関して会長から退会の勧告を求めることができることになっている部分を理事会の決議で退会勧告するというふうに改めたい。

また臨時総会の開催も会長ではなく理事会の決議によって開催要請することにしたい。

「児童・生徒を中心とする団体の部門会費については、そのつど理事会に諮り定める」とありますが、かなり問題をかかえてるということで今後の課題となります。

以上のような問題点を検討中です。次回の総会までに、理事会での承認を得て議案として皆様に提案させて頂く予定でおります。

意見・提案がございましたら書面にて事務局までお願い致します。

「野外ステージに集まろう」

10周年記念事業検討委員会
西村　邦彦

前回の総会で当委員会の設置が決まり、理事会で委員の選出があり顔ぶれがそろったのだが、テーマが大きくて委員会の開催が遅れていた。

確か5周年の時は、実行委員会で検討を重ねて、「シンポジウム」を開催、記録集を配布されたことが記憶に残っている。

やっと昨年の十二月に忘年会をかね会長や理事の有志、文化課を交えて話ができた。

その中から「加盟団体が一丸となって取り組める催しを」「桑名から市外に大きく発信できる催しを」ということで、方向性をだし、早速理事会に報告し承認をえた。そこで具体的な催し（案）を提案することになった。

その間に個人的には、いろんな方に相談をしたが、ちょうど「みえ県民文化祭圏域フェスティバル北勢大会」とドッキング開催のお話しの機会もあり、積立金一〇〇万円などを考慮に入れて具体案を検討すべく八月五日に委員会を開催した。

開催の趣旨として①市民に当協会10周年を意識してもらえること　②協会員が総出で参加、出演すること　③生活の中でのアートを演出すること　④出演者を広く公募すること（北勢地区）とし、

「野外コンサートをメインにする。オーケストラや合唱団は当協会員を主にしながら、広く公募し特別編成で行う。ほかに舞台の催し物や、周辺にジャンルの違った出し物を歓迎する。会場は三之丸コミュニティー広場と三之丸公園とし、日時の候補を十一月三日としたい」

開催までの方法としては、企画委員会を設置し本案を基に膨らませる（十月までに）。つぎに北勢県民局と相談し圏域フェスティバル北勢大会とのすりあわせを行う。実施案をまとめて理事会の承認をえて、企画委員＋専門委員会に委ねる。という段取りを考えているので、各位のご意見などをお寄せ頂きたいと思っている。

文化祭検討委員会の検討について

文化祭検討委員会　加藤　武夫

この委員会では、これまでの10回にわたって行って来た文化祭の反省と今後の在り方を検討して来ました。大きな課題は、市民会館等の公共施設を文化祭で占有し過ぎる、観客動

員が悪い、ステージ部門と展示部門では文化祭の参加チャンスが著しく異なるといった点でした。

また、県下の文化協会にアンケートも行いましたが、経費や日程等桑名市の場合は破格にいい条件でした。

そこで、来年の文化祭に向かって、とりあえず次のような提案を致します。

1、日程については、詳しくは紙面の都合で述べられませんが、集中と分散を加味して観客動員しやすい工夫をしました。また、部門の利用希望があれば、会場を総合福祉会館、体育館にも拡大します。

2、部門を越えたジョイント行事を協会（理事会主導）の主催で行います。例えば六華苑で教育委員会が行っている「いざよいコンサート」のような企画。

3、各団体の定期演奏会の文化祭への組み入れも可能とします。（ただし、一定のガイドラインの作成を要します）

4、春の文化市場の文化祭組み入れについても検討しましたが、以上の改善結果をみて今後の検討課題とします。

以上、各部門で検討いただき、来年度から実施に移したいと考えています。定着している「部門別」文化祭を大改革するとは行きませんが、各部門とも市民、観客の立場も加味して、企画運営での工夫をお願い致します。

文化協会に入会させて頂いて

社会文化部門　坪井　鎭逸（しずまさ）
（郷土史研究）

私は名古屋市から当市へ転居して十九年になります。年齢は六十五歳で妻と二人で小市民的な生活を送っている一高齢者です。平成九年名古屋市を退職し、ＯＢ職を経て現在は無職です。

今般「広報くわな」により文化協会の会員に応募しました。私の能力や見聞では不十分ですが、当市の文化事業に興味を覚え参加しました。歴史的資産も文化もこれを伝え発展させる運動なくしては衰退します。豊かな文化都市はその地域住民の支援と協力が不可欠と思っております。よろしくご指導願います。

「日韓友好親善美術展」を終えて

美術部門　藤田　久道
（桑名国際美術交流会）

本年、六月に桑名市博物館にて「日韓友好親善美術展」を終えることができました。

今年は記念すべきサッカー・ワールドカップの年であり、日韓友好の盛り上がりを見せてくれました。

スケッチ・デッサンも含めて両国の絵画百点余りを一堂に展示し、多くの方に鑑賞していただきました。

又、韓国作家五名をお迎えし、歓迎会、懇親会等も会員をはじめ諸団体、個人の方々の賛同のもと開催することができました。これを機会に桑名市文化協会に加盟し、さらなる発展を望みたいと思います。

楽しい箏曲演奏が合言葉

芸能Ⅰ部門　宮永　洋子
（宮永洋子箏曲・三絃教室）

桑員地区に箏曲三絃教室を開設致しまして丁度二十周年の節目の年に文化協会に加盟させていただき会員一同喜んでおります。今までも、桑名国際交流の一員として、又、私共の演奏会には桑名の諸先生方に大変お世話になってまいりました。

〝みんなで楽しく〟が宮永洋子箏曲三絃教室の合言葉です。

十月五日㈯には、大山田コミュニティプラザにおいて、第四回〝みんなで楽しくコンサート〟を開催いたします。文協の皆様にもご来場いただき、楽しい輪が広がればと願っています。よろしくお願い申し上げます。

一年生

芸能Ⅰ部門　中井三代子
（琴城流大正琴　桑名教室）

琴城流大正琴が桑名市で産声をあげましたのは、平成七年「マイカル桑名」オープンの頃でございます。私共は琴城流家元鈴木琴城に師事しておりまして、毎年七月には名古屋市民会館に於いて大正琴コンサートを開催し、九月九日には大須観音の境内にあります大正琴の碑の前で演奏しております。邦楽をはじめ、アンサンブル等楽しんでおります。

今年桑名市文化協会に加盟させていただきましたが、まだ人数も少なく、未熟ですので皆様にご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

平成14年度桑名市文化協会育成補助金交付事業一覧（14年4月1日～15年3月31日分）

本年3月に応募受付致しておりました本年度育成補助金の交付団体及び事業は下記のとおりとなりました。

団体名	事業名	開催日	会場
川崎流滝奈々会	川崎流滝奈々会発表会	6／2～6／3	長島温泉オリーブ
日本アマチュア将棋連盟東海ブロックくわな	第30回記念市長杯争奪桑名市民囲碁将棋大会	6／8	桑名市民会館
伊藤好子&ダンシングステップ	ダンスフェスティバルPART8	7／7	桑名市民会館
青黄会	第15回青黄会絵画展	8／7～8／11	桑名市博物館
ちぎり絵サークル	第16回ちぎり絵サークル展	8／28～9／1	桑名市博物館
桑名竹琳会	桑名竹琳会水墨画展	9／4～9／8	桑名市博物館
留美寝参寿久波奈	留美寝参寿桑員2002	10／1～10／14	六華苑、コミュニティプラザ、大安町文化会館、東員町「ギャラリー喜多墾」
クラシックレーススタジオ	愛・あむ・レース　愛・あむ・ニット	10／11～10／12	桑名シティホテル
桑名マンドリン倶楽部	第5回演奏会	11／17	コミュニティプラザ
桑名リコーダー教育研究会	第10回アンサンブルコンテストと記念演奏会	2／2	コミュニティプラザ
春の文化市場実行委員会	第5回春の文化市場	3／8～3／9	桑名市民会館

随想

文化の発信は港から

社会文化部門　大河内　浩

桑名を語るとき必ずと言ってよいほど七里渡口の港町、或いは東海道の宿場町という言葉が使われるが、その玄関口にある「船馬町」という名はそれを端的に表していると言える。写真は船馬町対岸の住吉浦で、往古は桑名藩御座船の繋留地であった所に、江戸時代正徳五年（一七一五）摂津国から海上舟運安全祈願として住吉神社が祀られてから、松林や石灯籠とともに水郷桑名の名勝として親しまれて来た。今ではもう懐かしい光景となりつつあるこの風景も、その昔全国から集まる舟人たちにより桑名港が文化の交流発進地となっていたことを思うとき、いままた文化協会の輪が、港に輻輳する船のように、新たな文化の発信地となっていくことを願わずにはいられない。

編集後記

「桑名文協」第12号をお届け致します。これが皆様のお手もとに届く頃には暑さも遠のき、文化・芸術の秋にふさわしい気候を迎えつつあることでしょう。昨年度に引きつづいて本年度も年二回の発行を企画して編集致しました。本号では今秋の市民芸術文化祭の中から、特に話題性のあると思われるものを幾つか選んで部門だよりとして紹介しましたが、設立10周年を節目に、ほかにも大いに期待できる行事が盛り沢山かと思います。

今年もぜひ錦秋に花を添える芸術文化祭の成功に、皆様の御活躍を願っております。

広報担当常任理事　西村　邦彦
委員　文学部門　月井　澄郎
美術部門　山上　貴
音楽部門　日置美知代
芸能Ⅰ部門　松尾　廣文
芸能Ⅱ部門　伊藤　昇三
芸能Ⅲ部門　岡本　早苗
茶華香道部門　上木美代子
演劇部門　小川　秀樹
社会文化部門　大河内　浩
趣味教養部門　福本さとり
子ども文化部門　西村けい子